

[様式14]

(対象事業: 2 ミュージアムを核とした地域文化資源の整備活用に係わる事業 3 ミュージアムを核とした地域の人材・組織の育成・連携・活用に係わる事業)

事業名: ふるさとミュージアム
地域ネットワーク推進事業

事業者名: 京都府立山城郷土資料館

連携事業館名:

住所: 京都府木津川市山城町上狛千両岩

京都府立山城郷土資料館内

TEL: 0774-86-5199

FAX: 0774-86-5589

HPアドレス: <http://www.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/>

①施設概要

- ◇京都府南部地域ミュージアム連絡協議会 (府南部地域公立博物館等9施設で設立)
 - ◇やましる観光ボランティアガイド連絡協議会 (同地域の10ボランティア団体等で設立)
- 上記2団体及び他関係機関で調整・連携する組織

②事業の意図目的

- ◇京都府南部地域ミュージアム連絡協議会の活動を促進することで、各ミュージアムが地域の「核(拠点)」として関係団体と連携を深め、情報の収集・発信を行う。
- ◇各地域の観光ボランティア団体の地域活動・生涯学習を活性化させるための相互間の交流や人材育成を深める。
- ◇各関係団体を統合する「ふるさとミュージアム地域ネットワーク推進委員会」を組織し、活動の成果として「地域の特色ある歴史や文化を再発見し、地域に発信」する「ふるさとマップ」の作成につなげていく。

③事業概要

▼平成19年度は、活動の取りかかりとして、本事業を前提とした、平成19年6月に設立した「京都府南部地域ミュージアム連絡協議会」を軌道に乗せることに重点をおいた。
▼幹事機関で打ち合わせ、企画を行い、本年度は各施設の管理部門・学芸部門合同の研修会を実施し、課題や成果の交流、「学校教育との連携」についての協議等を行った。
▼また、観光ボランティアとの連携については、各施設が「拠点」をなり促進を図ることや、新たに設立された「やましる観光ボランティアガイド連絡協議会」との交流・連携を進めた。▼構想・企画等は一定できあがりつつあるが、実際に調整(実行)面での動きに遅れがあり次年度の取組に課題を残した。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 テキスト ワークシート その他 ()
作成した報告書等 ビデオ () 冊子 ()
その他 (まとめの報告)

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 人

内 訳

(1) 事業の実施状況について

① 京都府南部地域（山城地域）の特性

ア 山城地域は、京都府の南部に位置し、京都府域の約 12%を占め、京都と奈良を結ぶ歴史文化軸上に展開する歴史的文化地域であり、京都、大阪という大都市圏の近郊地域である（位置関係別掲[図 1]）。

イ 古代には、平城京から遷都された「恭仁京」（木津川市）やその後の「長岡京」（向日市・長岡京市・大山崎町）が置かれた歴史を持ち、また、平安京へ遷都後も千年以上に亘って都に隣接する地域として、都と深い関わりを持ち続けてきた。

ウ 京都と奈良という二大古都に挟まれた地域であり、豊富な観光資源を有しているが、観光資源を十分に活かしていない現状もあり、地域の観光振興に取り組む動きが活発になってきている。

[図 1] 京都府全域



京都府南部地域（山城地域）

向日市、長岡京市、大山崎町、八幡市、久御山町、宇治市、
城陽市、京田辺市、井手町、宇治田原町、精華町、木津川市、
笠置町、和束町、南山城村

[図2] 京都府南部地域（山城地域）と京都府南部地域ミュージアム連絡協議会加盟施設



② 京都府南部地域ミュージアム連絡協議会の取組について

ア 京都府南部地域[図2]に示した地域内の公立の博物館等で組織

(ア) 加盟施設

- 向日市文化博物館（向日市）
- 長岡京市立中山修一記念館（長岡京市）
- 大山崎町歴史資料館（大山崎町）
- 宇治市歴史資料館（宇治市）
- 宇治市源氏物語ミュージアム（宇治市）
- 城陽市歴史民俗資料館（城陽市）
- 八幡市立松花堂美術館（八幡市）
- 八幡市立ふるさと学習館（八幡市）
- 京都府立山城郷土資料館（木津川市）＜事務局＞

(イ) 設立時期 平成19年6月15日（金）・・・新聞記事別掲

イ 事業概要

(ア) 幹事会の開催（5/22、11/29・事務局）

幹事長・・・京都府立山城郷土資料館

幹事・・・宇治市歴史資料館、長岡京市中山修一記念館

（役員各施設ごとの持ち回りとし、事務局は京都府立山城郷土資料館）

(イ) 研修会の開催（1/23・宇治市）

- ・各施設の平成19年度の成果・課題について
- ・各施設の平成20年度的主要事業について 交流
- ・「学校教育との連携について」研究協議
- ・文化庁「ミュージアムタウン構想の推進」事業の推進について

「京都府南部地域ミュージアム連絡協議会」の加盟の各施設がそれぞれの地域の関係団体との連携をさらに充実して、本事業の主旨を活かしていくことなど協議

② 観光ボランティア団体との連携

ア 京都府南部地域の観光ボランティア団体

- 長岡京市ふるさとガイドの会（長岡京市）
- 大山崎町ふるさとガイドの会（大山崎町）
- 宇治観光ボランティアガイドクラブ（宇治市）
- 五里五里のふるさとガイド（城陽市）
- やはた観光ガイドボランティアの会（八幡市）
- 井手町ふるさとガイドボランティアの会（井手町）
- 精華ふるさと案内人（精華町）
- 京田辺市観光ボランティアガイド協会（京田辺市）
- 山城町ふるさと案内人の会（木津川市）
- NPO 法人ふるさと案内・かも（木津川市）

イ 連携の状況

- (ア) 京都府立山城郷土資料館では、各種主催事業（特に子どもたちを対象とした体験事業）において、地元木津川市や井手町のボランティアガイド団体に運営協力をいただいて成功をおさめてきている。
- (イ) 他の京都府南部地域ミュージアム連絡協議会加盟の施設においても、それぞれの地域において連携が進んでいる。
- (ウ) 京都府山城広域振興局（農林商工部商工観光室）が、地域の観光振興について広域的に関係団体との連携・推進のための体制づくりに取り組んできており、平成20年2月に「やましる観光ボランティアガイド連絡協議会」が結成された。京都府南部地域ミュージアム連絡協議会事務局として、結成の場となった「やましる観光ボランティアガイド交流会」に参加し今後さらに連携を深めていくことの依頼を行い、個別に各団体との調整等を図った。

(2) 地域との連携について

◇前述のとおり、「京都府南部地域ミュージアム連絡協議会」を軸に、「やましる観光ボランティアガイド連絡協議会」と連携を進めた。
今後さらに連携の促進が必要である。

(3) 成果物について

◇本年度の取組は、いわば助走期間であり各関係団体対との連携を始めた状況である。取組の成果物は2年次の「ふるさとマップ」で結実していきたい。

(4) 参加者の反応

- ア 京都府南部地域ミュージアム連絡協議会の取組の中から
- ・「学校教育との連携」など共通のテーマを定め今後も協議をしていきたいとの声も多く、本事業の推進と合わせ取り組んでいくこととしている。
- イ 観光ボランティアガイドの方々から
- ボランティアガイド交流会で出された主な意見等
- ・活動の場所の確保（教育委員会、観光部局か）
 - ・活動環境（ガイド活動の充実）の確保
 - ・活動メンバーの固定化。新たな人材育成が急務である。
 - ・活動の財源の確保（有料化にすべきか）
 - ・行政機関との連携は、活動場所・財源等の面からも重要である。
- ◇各地域の資料館が地域の「核（拠点）」となって連携することで、前述の意見にも応えていける環境がそろいつつある。

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

- ア 本年度の取組は、助走期間的な要素が多く、効果として特記するには不十分な状況ではあったが、「ミュージアムタウン構想の推進」の中で、博物館等に望まれるものとして掲げられた「地域活性化の取組、学校教育との連携の重要性、地域や関係機関・他館との連携協力」等については、前述の「京都府南部地域ミュージアム連絡協議会」の活動の中で主要課題として協議の柱として進めることができた。
- 過去にも同様の組織の立ち上げらしきところまでいったが、継続できず立ち消えとなったこともあり、今回組織を立ち上げ、課題を明確にしつつ、なおかつ各加盟施設の業務負担等も十分考慮し今後も継続して取り組むこととしている。
- イ また地域活性化・関係機関との連携の観点では、観光ボランティア団体との連携を進める中で、ボランティア団体からは活動環境の確保の問題や人材育成の必要性また行政機関との連携を求める声も寄せられ、文化庁事業とすることで、今後の連携がさらに深まる環境が整ってきた。
- ウ 運営に協力いただく各団体・施設の旅費等の確保が可能になることで、より多くの参画を促すことができるようになった。
- エ 活動・取組を一部地域限定でなく、より広域的にアピールできる環境とともに成果物として作成予定のマップは大いに活用が期待できる。

文化庁【芸術拠点形成事業（ミュージアムタウン構想の推進）】の取組構想図

平成20年 3月

◇ミュージアムタウン構想の趣旨◇

- 1 まちに生きる美術館・博物館
- 2 子どもたちとともに成長する美術館・博物館（学校教育との連携）
- 3 利用者とともにつくる美術館・博物館
- 4 個性あふれる美術館・博物館づくりと情報発信
- 5 伝統文化の継承・発展から新たな文化創造へ

◆ミュージアムを核とした地域文化資源の整備・活用に係わる事業
→地域の歴史や文化を掘り起こし、地域に発信

◆ミュージアムを核とした地域の人材・組織の育成・連携・活用に係わる事業
→ボランティア組織等との連携他

ふるさとミュージアム地域ネットワーク推進事業

ふるさとミュージアム地域ネットワーク推進委員会

京都府南部地域ミュージアム連絡協議会

向日市文化資料館

長岡京市中山修一記念館

大山崎町歴史資料館

宇治市歴史資料館

宇治市源氏物語ミュージアム

城陽市歴史民俗資料館

八幡市松花堂美術館

八幡市ふるさと学習館

京都府立山城郷土資料館

資料館ボランティア「いずみの会」

向日市

久御山町

宇治田原町

和束町

笠置町

南山城村

府関係機関・府観光コンベンション室等

連携・協力・情報収集・情報発信

やましろ
観光ボランティアガイド
連絡協議会

<長岡京市>

長岡京市ふるさとガイドの会

<大山崎町>

大山崎ふるさとガイドの会

<宇治市>

宇治観光ボランティアガイドクラブ

<城陽市>

五里五里のふるさとガイド

<八幡市>

やはた観光ガイド協会

<井手町>

井手町ふるさとガイドボランティアの会

<精華町>

精華ふるさと案内人

<京田辺市>

京田辺市観光ボランティアガイド協会

<木津川市>

山城町ふるさと案内人の会

<木津川市>

NPO法人ふるさと案内・かも

京都府山城広域振興局

- ◇各地域のミュージアムを核《拠点》として情報の収集・発信
- ◇相互間の交流・研修事業の実施
- ◇出前講座の実施
- ◇地域紹介・活動紹介マップ・ミュージアムガイド等の作成

府南部(山城、乙訓地域)にある公立の資料館や美術館、博物館が集まって連合体組織「京都府南部地域ミュージアム連絡協議会」を発足させることになり、15日、木津川市山城町の府立山城郷土資料館「ふるさとミュージアム山城」で設立総会が開催された。協議会加盟施設は、山城郷土資料館のほか、宇治市の歴史資料館と源氏物語ミュージアム▽城陽市歴史民俗資料館▽八幡市の松花堂美術館とふるさと学習館▽向日市文化資料館▽長岡京市立中山修一記念館▽大山崎町歴史資料館の9施設。相互連携を密にし、博

京都文化向上に寄与

南部の資料館など連絡協発足

博物館活動の発展を図ることで京都の文化向上に寄与するのが目的。同協議会では、ホームページリンクや広報面での協力事業、研修や交流会の実施などの相互交流活動を計画している。設立総会には、加盟施設の館長ら14人が参加。協議会幹事長に選ばれた山城郷土資料館の村上勤一館長が開会あいさつと経過説明を行った後、規約や平成19年度の事業計画などを審議。総会終了後には同資料館で開催中の企画展「木津川の歴史と風景」の見学会があり、同資料館の横出洋一資料課長が展示を解説した。

平成19年6月22日(金) 京都新聞 朝刊 山城ワイド

府南部の文化発信力、高めたい

ミュージアム、発展へ連携

山城と乙訓地域にまたがる府南部の公立の資料館や美術館、博物館計九館でつくる「府南部地域ミュージアム連絡協議会」が、このほど発足した。学芸員の交流や研究会の開催、情報交換などを密にしていこう狙いで、同協議会は「府南部の文化発信力をより高めたい」としている。

山城・乙訓の公立9館 連絡協議会を発足

加盟しているのは、府役員のほか、魅力的な立山郷土資料館や宇治展示や広報の工夫などを市源氏物語ミュージアムにいたった研修・交流ム、八幡市立松花堂美術館開催といった事業計画館向日市文化資料館な案を承認した。意見交換ど山城、乙訓両地域の施設。昨年六月に府立山城郷土資料館(木津川市)に赴任した村上勤一館長が「府南部にある施設の効果的な連携を図ってはどうするか。まずは公立だけでも始めよう」と各施設に呼びかけ、今年一月に設立準備会を立ち上げた。六月十五日に同資料館で開いた設立総会には、各館の館長ら十五人が参加。規約案を持ち回りの

二十年ほど前に府内全域の施設が加盟する同様の組織がつくられたが、すぐに立ち消えになった経過がある。協議会の幹事長に就任した村上館長は「しっかりとした効果が上がるよう、息長く継続させていきたい」と意気込む。(高橋晴久)

学芸員交流、文化財マップ作製… 息長く活動